

申請日： 年 月 日

WGC 大会本部 御中

※できる限りの範囲で記載してください。自由に記載、頁数にこだわりません。

〔古河林業賞〕 「グリーン・スタイル」クラス 申請書

ゼッケンNo. チーム名											
代表者											
連絡先	〒					—					
	TEL	— —									
	FAX	— —									
	E-mail	@									

(1) 昨年度の記録について

エントリークラス：	
一日目	周
二日目	周
三日目	周
合計	周
(合計走行距離)	k m

本年度の記録 _____ ※大会本部側記載

一日目	_____ 周
二日目	_____ 周
三日目	_____ 周
合計走行距離	_____ k m

大会本部記載	
評価など	

a. チームとして、アピールしたいこと（要旨）

※特にエコに向けた取組として環境に配慮した車体づくりについてアピール下さい。

b. 当大会への展開について（改良点など自由に記載ください。）

(2) 特にチーム・ワークについてアピールしたいこと。

★自由に記載、添付貼り付けしてください。

(3) 車両デザインについてアピールできるもの。

★自由に記載、添付貼り付けしてください。

(補足)

日本での初めてのソーラーカーレースは、エネルギー消費増と環境保全との相反するテーマに関心が持たれ、電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の開発、実用化がより強く求められる中、1992年に電気事業者連合会とエネルギー庁の強力なバックアップにより石川県・能登で実現しました。そして、20年が経過し、猛威を振るってしまっただ東日本大震災の後、自然の力が主役となり、必要以上の電気エネルギーをつくり出す責任の重さと貴重な電気を使用する尊さを改めて感じさせられます。

本年度の秋田県大潟村での本年度の大会は、26年を迎えています。

ものづくり及び技術者育成の観点から、モーターの自作部門クラスの設定や特別賞など推進しています。新たに秋田県の企業でもある「古河林業株式会社」殿からの申し出により、「エコに向けた取組として環境に配慮した車体づくり」をテーマとして、「チームの活動と努力」についての活動をたたえることを目的に「古河林業賞（ステップ・アップできたでしょう!）」を設定しました。最初は、特別賞として扱い、その後、グランプリの大会でのポイントにすることも検討中です。

エンタラントとオフィシャルが一体となって、健全なる電気自動車の普及・促進を目指し、挑戦を繰り返しているのが秋田県大潟村でのソーラーカーレース（WG C）です。

(文責：熊谷枝折)